記者発表資料

平成２７年６月３０日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

未来の土木技術者が工事現場体験
～相馬農業高等学校生が阿武隈東道路を見学～

平成２７年７月２日（木）、一般国道１１５号阿武隈東道路の（仮）玉野（たまの）トンネルを福島県立相馬農業高等学校環境緑地科の生徒さんが見学いたします。

この見学会は、若年者の建設現場見学会並びに建設現場実習の一環として、一般社団法人福島県建設業協会の主催によるものです。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解も深まればと考えております。

１．日　時　平成２７年７月２日（木）１０：００～１１：３０

２．場　所　一般国道１１５号阿武隈東道路

①（仮）玉野（たまの）トンネル

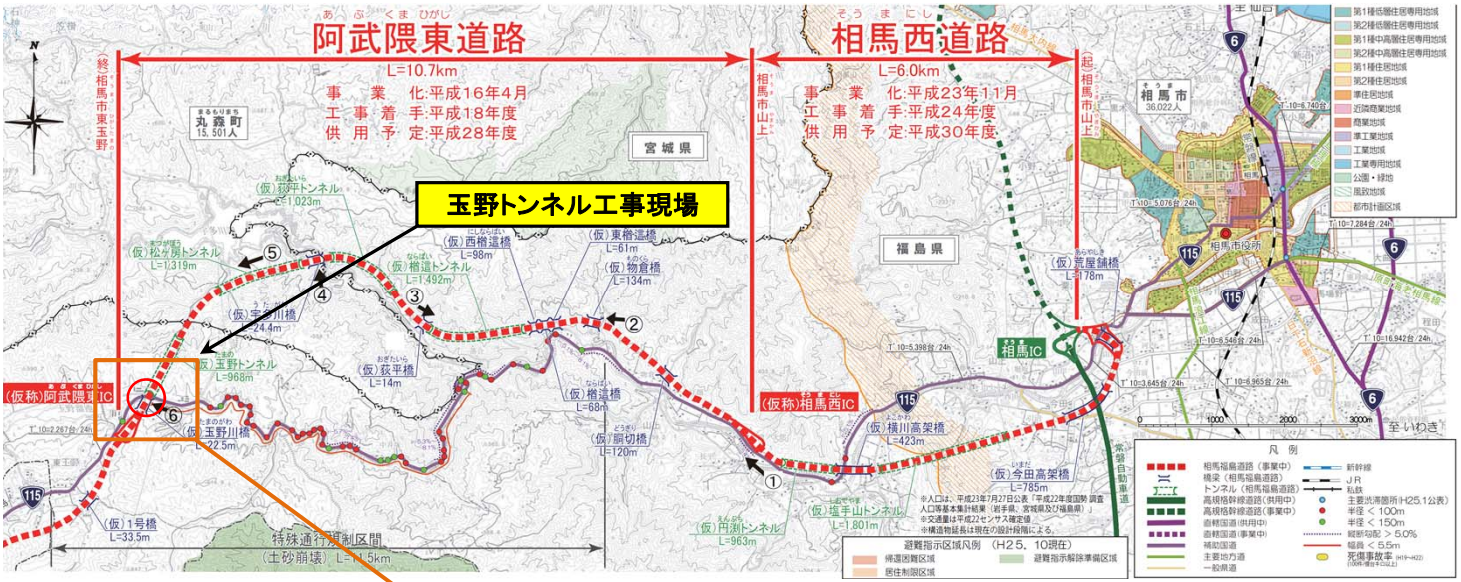
３．見学者　福島県立相馬農業高等学校 環境緑地科 ２年生 ２０名

発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
福島建設工業新聞、南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ
◆事業に関する事
国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
TEL ０２４６－２３－２２１１（代表）
副 所 長　千葉　富彦　（内線２０４）
工務課長　岩渕　誠　（内線４１１）

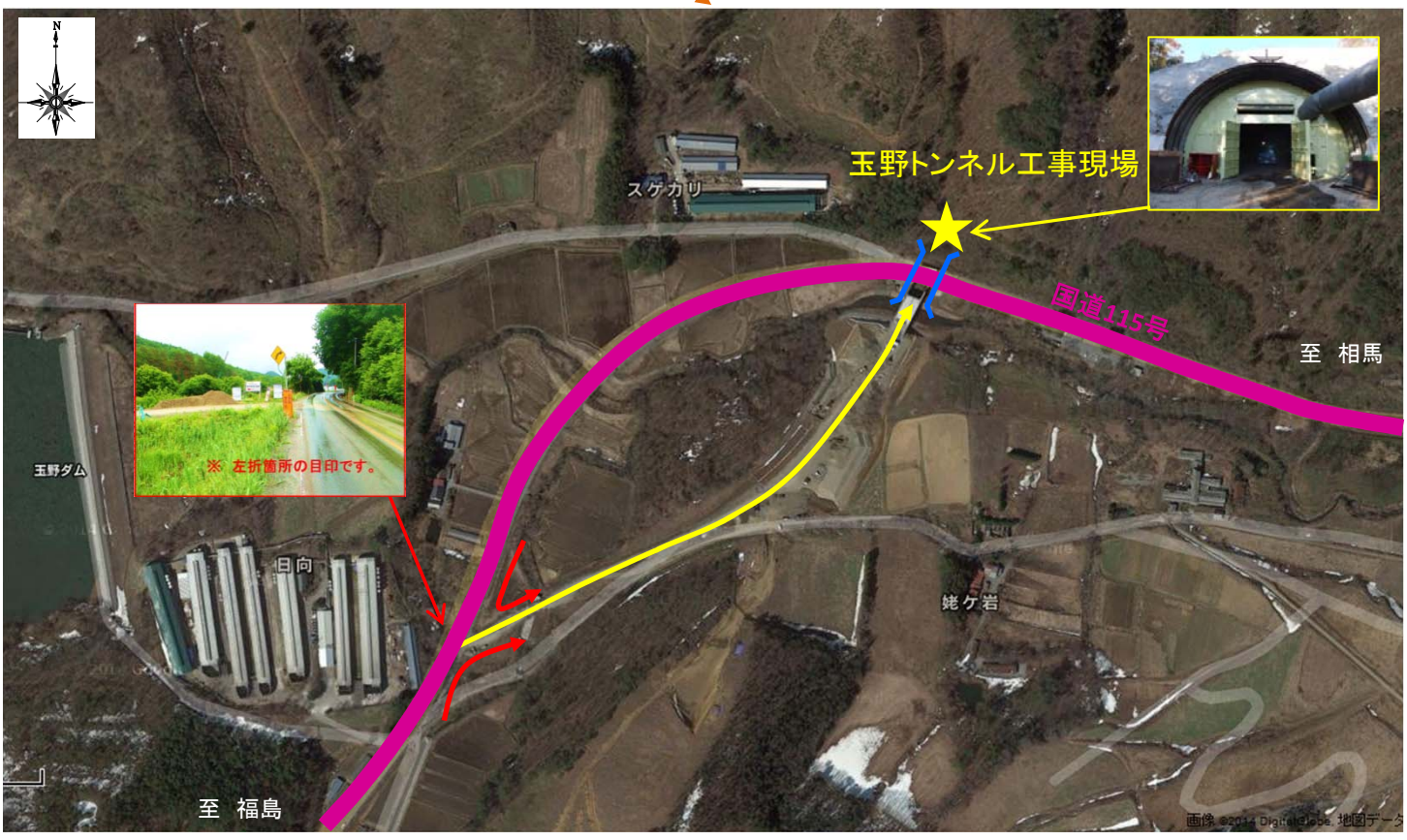
◆見学会に関する事
一般社団法人福島県建設業協会
TEL　０２４－５２１－０２４４
浅野　聡一

位置図



阿武隈東道路
L=10.7km
事　業　化:平成16年4月
工　事　着　手:平成18年度
供　用　予　定:平成28年度
相馬西道路
L=6.0km
事　業　化:平成23年11月
工　事　着　手:平成24年度
供　用　予　定:平成30年度
玉野トンネル工事現場
(仮称)阿武隈東IC
(仮称)相馬西IC
相馬IC
宮城県
福島県
丸森町
相馬市
特殊通行規制区間
(土砂崩壊)

拡大図



玉野トンネル工事現場
国道115号
スケカリ
至　相馬
玉野ダム
日向
姥ケ岩
至　福島
※ 左折箇所の目印です。

①阿武隈東道路　進捗状況　（平成27年6月現在）















あぶくまひがし
阿武隈東道路　延長10.7km

平成28年度　完成2車線開通目標

相馬市東玉野　そうましひがしたまの

相馬市山上　そうましやまかみ

宮城県丸森町

阿武隈渓谷県立自然公園

（仮）うたがわ 宇多川橋　延長24m（完）

（仮）まつがぼう 松ヶ房トンネル　延長1,319m（完）

（仮）おぎだいら 荻平トンネル　延長1,023m（完）

（仮）ならばい 楢遣橋　延長68m

（仮）にしならばい 西楢遣橋　延長98m

（仮）ならばい 楢遣トンネル（完）
延長1,492m

（仮）ひがしならばい 東楢遣橋　延長61m

（仮）ものくら 物倉橋　延長134m（完）

（仮）たまの 玉野トンネル　延長968m

（仮）おぎだいら 荻平橋　延長14m（完）

（仮）たまのがわ 玉野川橋　延長23m（完）

（仮）どうきり 胴切橋（完）
延長120m

（仮）阿武隈東IC

T'05=2,269台／日
T'99=2,332台／日

（仮）相馬西IC

至　福島市

至　相馬市街地

福島県相馬市

特殊通行規制区間　L＝11.5Km

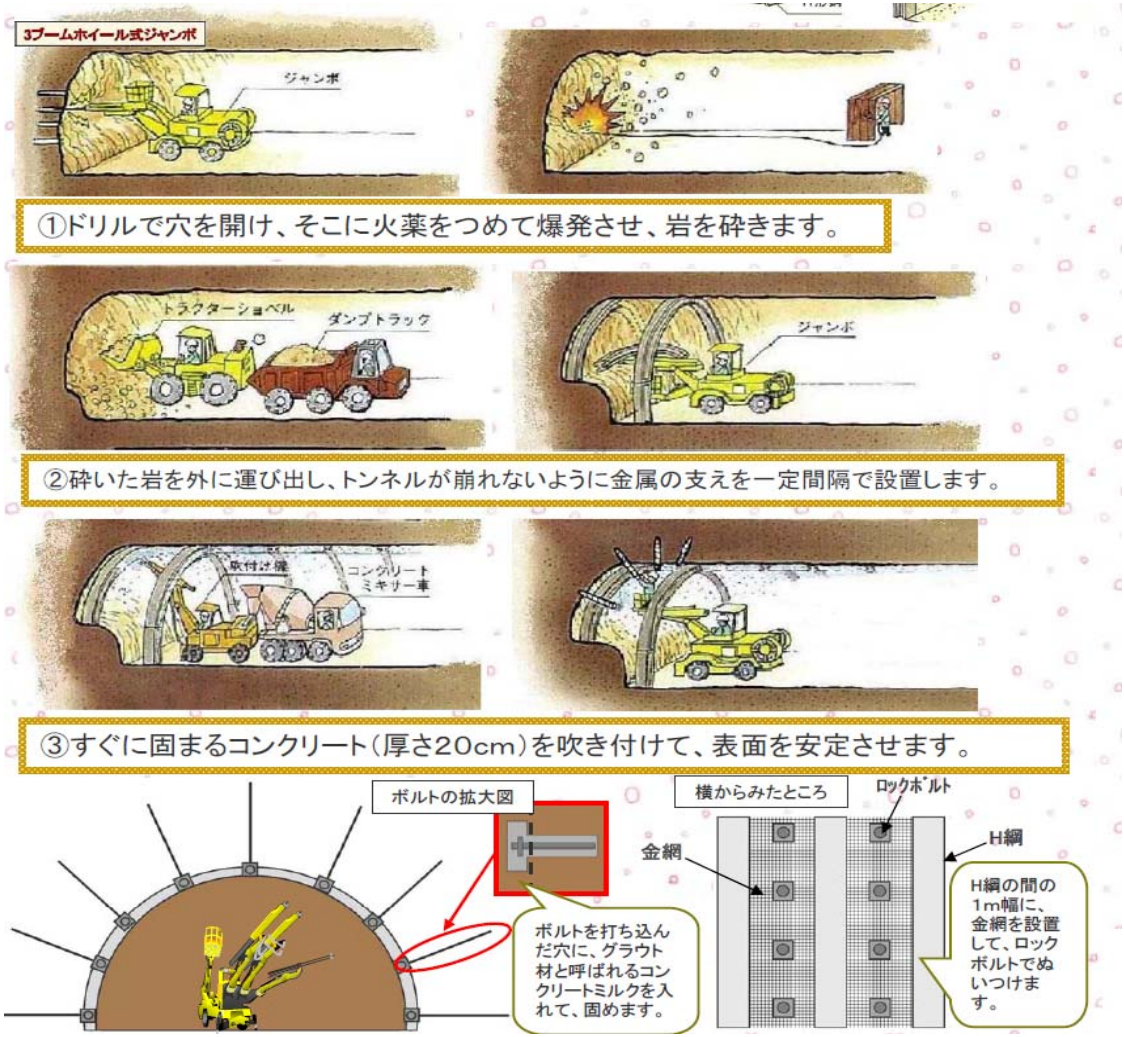
【事業経緯】
H16年度　事業着手
H18年度　工事着手
H28年度　開通目標

【H27年度事業内容】
・東楢遣橋、楢遣橋、西楢遣橋、
玉野トンネル　工事中

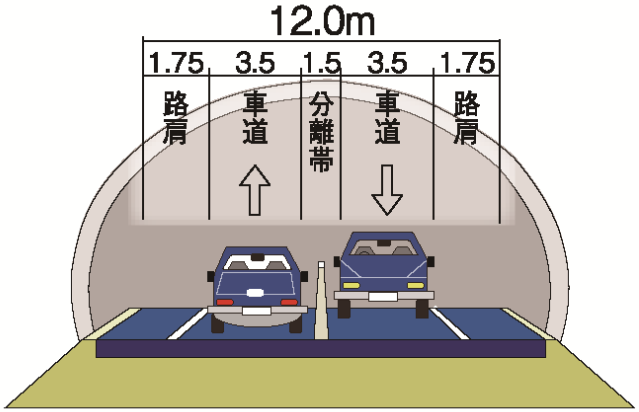
国道１１５号　玉野（たまの）トンネル工事概要　（平成２７年６月現在）

■　工事概要

工事名：国道115号　玉野トンネル工事
施工場所：福島県相馬市玉野字東玉野　地内
工事内容：トンネル延長　L＝968m（6月28日現在532m）
道路幅員　W＝12．0m
NATM工法（新オーストリアトンネル工法）



トンネル幅員





トンネル施工状況写真

【 復興支援道路 】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

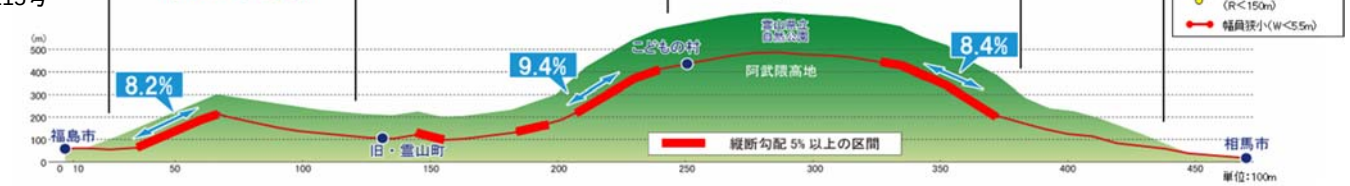
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45㎞の自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断図】

国道115号



国道１１５号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

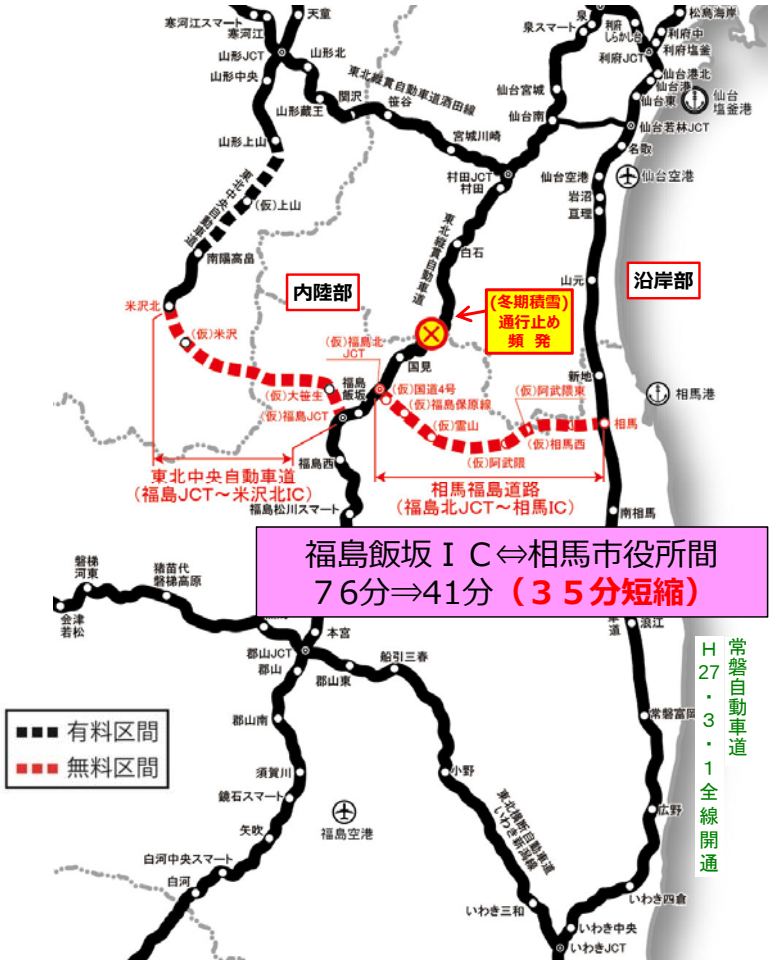


急カーブ・急勾配箇所多数



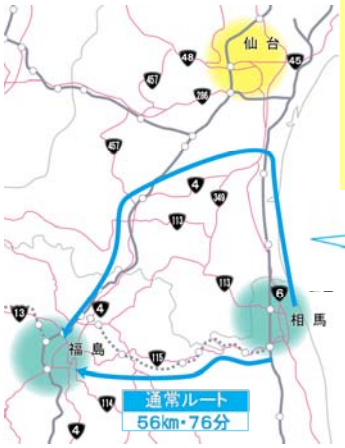
沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している
⇒大幅な迂回損失が発生

冬期迂回ルート
迂回率 1.74
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度
時間価値原単位はＨ２０年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道１１５号のみ



国道１１５号は、災害等による通行止めが頻発
（通行止１５回／１６年）
※H11～H26

▼落石等により寸断された国道
国道115号相馬市山上地区（H18年6月）

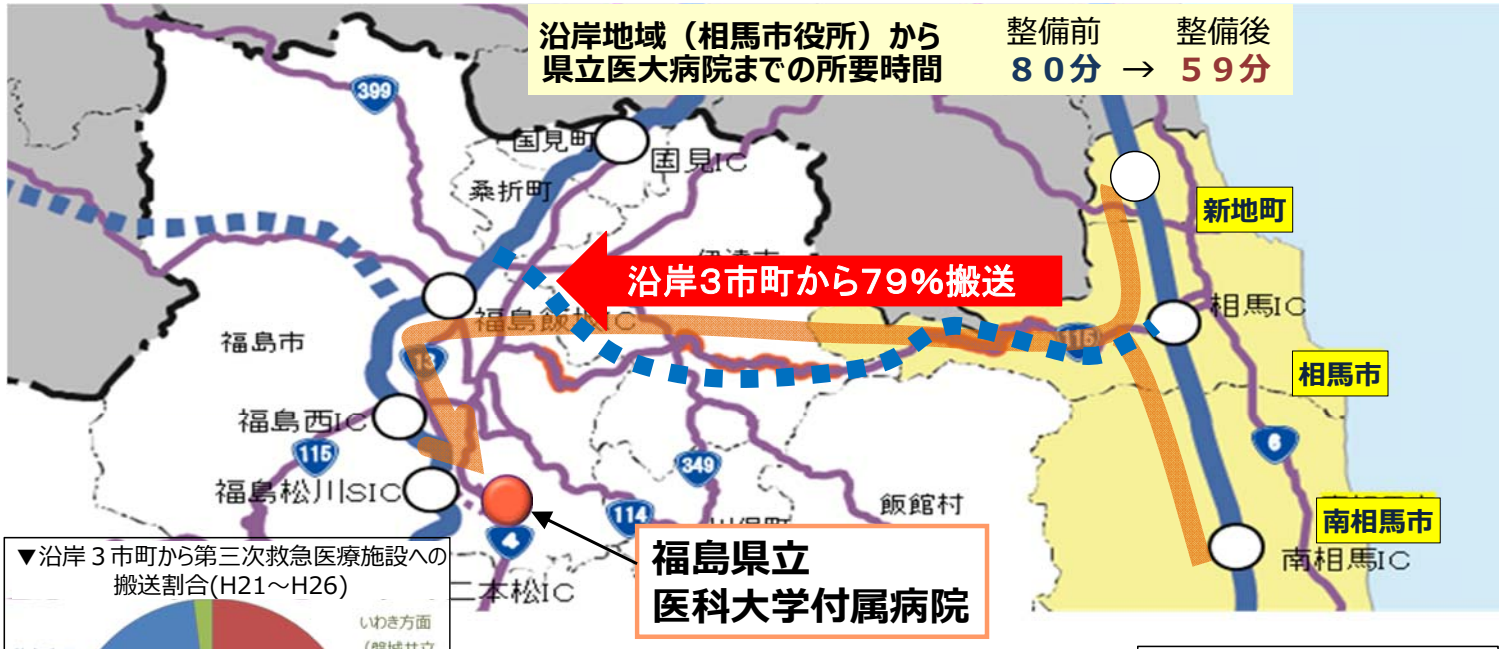


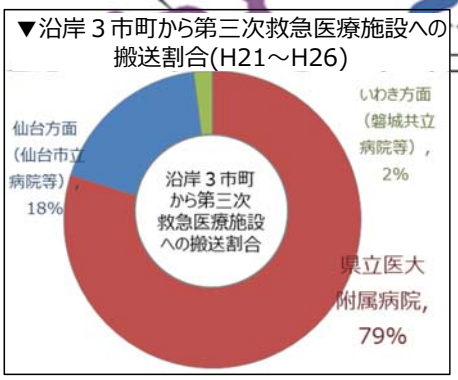
▼豪雪により寸断された国道
（伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め３日間）



メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援





▼沿岸３市町から第3次救急医療施設への搬送件数（H21～H2６）

全搬送件数：605/6年
- うち、福島方面　481件
- うち、仙台方面　106件
- うち、いわき方面　14件

資料：相馬地方広域消防本部

線形不良箇所（R＜150m）
N=103箇所

メリット④ 地域経済を支援

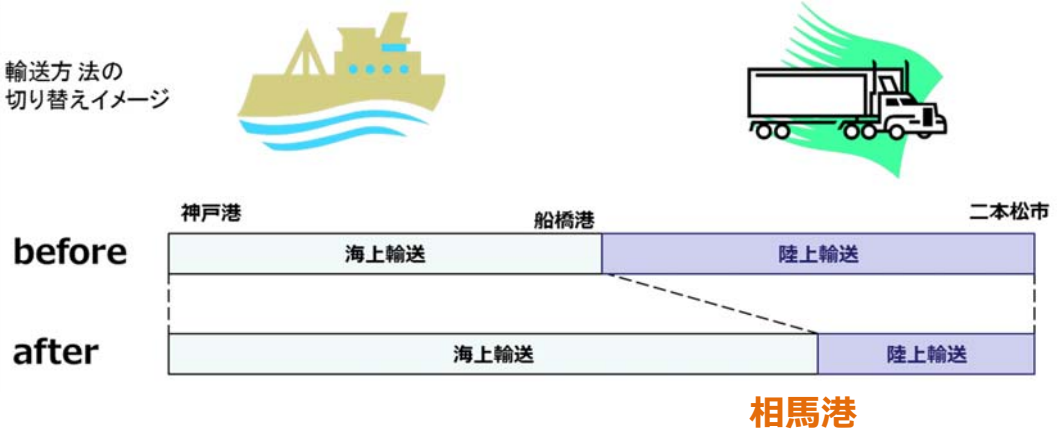
相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鋳造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のＩ社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

２，０００円／ｔ のコスト削減





出典：福島県相馬港利用促進協議会ＨＰ